

校内研究だより



# 学びの深化

No. 6



平成30年10月23日号  
文教大学附属小学校

## 研究主題 「学ぶことを楽しむ！」

～文教大学附属小学校型 ディープアクティブラーニング

学びの深化を目指して「自ら問い続ける子どもを育てる授業」～

平成30年10月23日(水)、本年度第5回目の校内研究授業を行った。

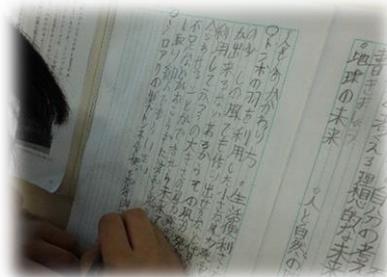
今年度は研究主題である「学ぶことを楽しむ！～文教大学附属小学校型アクティブラーニング学びの深化を目指して「自ら問い続ける子どもを育てる授業」～について研究を重ねてきている。



第5回目は生活科の研究授業で、3年1組は、『三年とうげ』を河野里佳教諭が、6年生は、『自然に学ぶ暮らし』を山口拓哉教諭が行った。3年1組の児童たちは、場面の移り変わりを捉えて、昔話や民話のおもしろさをまとめる授業を学習した。6年生の児童は筆者の意見と自分の考えを比べながら、自分の考える理想的な未来の社会を文章にまとめ、書き上げた自分の考えをクラスで伝え合った。



研究協議会では、「共感・啓発」「課題・疑問」「教師」「児童」の4要素に沿って良かった点と改善すべき点を付箋に記載し成果と課題の発表を行った。今回からは、協議の方法を改善し、授業者への改善提案を多くすることによって今後の授業をよりよくしていくような意見がより多く発言されるようになった。よりまた、今回は小金井市立緑小学校の元校長八木裕子



先生を講師としてお招きし、授業と協議会の指導・講評も頂いた。八木先生からは単元の目標と、本時の目標を捉えて授業をデザインし作ることの大切さをご教授いただいた。また、協議会の視点を定めることについてもアドバイスをいただいた。さらに学校としての研究主題を明確にし、共通認識を持つことの大切さも教わった。今後も国語科の研究授業を行って学校共通の主題をもち、よりよい授業をつくっていきたいと思う。

